

編集 後記

今年の夏は、暑さもさることながら、台風や豪雨災害により、全国各地で甚大な被害が発生しております。被害に遭われた方へお見舞いを申し上げます。また、医療支援や保健支援にご尽力いただいた会員の皆様も多いと思います。このような災害時の公衆衛生活動が、継続、発展できるよう、得られた知見や課題などを、この学会でも共有していただければと思います。

さて、71巻9号では原著2編、資料1編、特別報告1編を掲載しております。第1編は政府統計のオープンデータを用い、都道府県別に幸福度指標（Better Life Index）を開発した原著論文になります。都道府県レベルでの幸福度を示す指標で、さまざまな施策の評価指標としての活用も期待できるものと考えております。

第2編は、介護保険の要支援・要介護の認定されるリスクについて、開発されたリスク評価尺度を用い、そのカットオフ値を検討した原著論文になります。今後、早い段階から介護予防に取り組む必要性を啓発するための一次予防の手段として、今後より有用性の高いツールとして活用されることを期待しております。

第3編は、都道府県がん登録のデータによりがん検診の精度管理を検討した資料になります。がん検診の精度管理の方法は、都道府県によってばらつきがありますが、がん登録情報を用いた偽陰性者等の定義が示されたことで、今後、多くの自治体で、この指標が活用され、精度管理が広がることを期待します。

第4編は、地域での自殺予防対策の特別報告になります。医療や保健、福祉の垣根を越えて、多方面から、“ゆるやかに、束縛しすぎず、社会とつながっていく”ことの重要性を示していただいております。このことが自殺予防のキーファクターになるのだと感じた次第です。

最後になりますが、例年、日本公衆衛生学会総会の際に、公衆衛生に関する優れた研究や、実務家の皆様方にぜひ知っていただきたい活動をなされている発表者の方に、編集委員会から本誌への投稿を、お声がけしております。今回掲載されている原著の一つも、その取り組みから投稿いただき、掲載に至った論文になります。第83回日本公衆衛生学会総会でも、発表される先生方に編集委員会からお声がけさせていただくかもしれません。その際にはぜひ、本誌への投稿をご検討いただければ幸いです。
(大類真嗣)

次号予告 (第71巻・第10号)

原著

改訂版子どもと若者のレジリエンス尺度日本語版の開発と信頼性・妥当性の検討

…………… 下田茉莉子, 他
日本における職業上の身体活動強度の長期推移

…………… 藤谷綾香, 他
勤労者を対象とした男女別食事パターンの抽出と亜鉛摂取状況…………… 田所加奈, 他

公衆衛生活動報告

ニュータウンにおけるグリーンスローモビリティの試行導入：7週間の実証試験

…………… 渡邊良太, 他

資料

児童生徒のネット・ゲームの問題に関する公立学校教員の認識：対応の現状と課題

…………… 坂本めぐみ, 他